

市民提案型協働事業実施計画書

協働事業名	わこう郷土かるた（わこうっちかるた）作成事業
事業目的	1 解決する地域課題の内容 和光市は都心に近いベッドタウンとして人口が増加しております。市外から転入してこられた若い世代やその子どもたちの地域のお祭りや行事への参加が少なく、住んでいる地域への関心が少ないなどの課題がみられます。 2 課題解決に対する市民ニーズ（課題として提起する根拠等） 和光市の歴史・文化・自然などを盛り込んだ「かるた」を作成し、かるた遊びを通じて、地域の魅力をこれからの和光を担う子どもたちに伝え、郷土愛や地域への関心を高めること目的とする。 3 その他 今から30年前の昭和58年に「和光市文化かるた」が和光市文学散歩同好会により作成されました。この30年の間に和光市も大きく変化し、新たな時代のかるたを作成するべきと考えました。
問題解決の手法	1 問題解決の方策 わこう郷土かるたを作成し、市内の小学校・児童館等に配布。作成したかるたでかるた大会を実施する。 2 問題解決の独自性及び先駆性 かるたの読み句は市内の小学生を中心に市民からの公募とし、読み句を考える段階から地域への関心、魅力の再発見をする場としてもらう。絵札についても子どもたちに描いてもらい、デザインに和光市イメージキャラクターの「わこうっち」をあしらひ親しみやすいものとする。 3 想定される問題及び対策 問題1）読み句、絵札の公募に対して応募があるか。 対策1）市内の小学校に対して、授業の一環として読み句、絵札の応募をお願いする。市の広報を活用する。 4 その他
役割分担	1 提案団体が果たす役割 事業の企画運営全般 読み句の公募、問い合わせに対する窓口 読み句、絵札の選定 かるたのデザイン、印刷

	2 市に期待する役割 市内の小学校に対して、授業の一環として読み句、絵札の応募をお願いしたい。 読み句、絵札の公募や、かるた大会実施の際、広報わこう、ホームページなどでの広報をお願いしたい。 読み句、絵札などに対し内容の監修をお願いしたい。 和光市役所、教育委員会、文化財保護委員会などの後援、推薦などを頂きたい。
協働の必要性	1 協働の必要性 読み句、絵札などの内容に関して、専門知識を持った方の監修が必要。商工会青年部単独では事業予算が限られており、作成できる部数が少なくなるなど、理想的な事業が実施できない。 2 協働による相乗効果 商工会青年部の他業種にわたる人的ネットワークや、各種イベントの運営経験と、市の専門性を協働することにより、それぞれ単独に事業を進めるより効率的に事業を行うことができる。
個別事業の内容 (事業ごとに記入)	1 事業名 わこう郷土かるた（わこうっちかるた）作成事業 ・ 目的 郷土かるたを作成し、かるた遊びを通じて、地域の魅力をこれからの和光を担う子どもたちに伝え、郷土愛や地域への関心を高める。 ・ 成果 子どもや子育て世代の家庭における地域への関心が高まる。 ・ 内容 読み句、絵札の公募による郷土かるたの作成 ・ 実施日程 平成26年4月～平成27年3月 ・ 参加予定者 市内の小学生、市民全般 ・ 実施場所 和光市内 ・ 予算額 777,000円
事業の実施体制	1 人的体制 商工会青年部員 28名、アドバイザー・まつもとや 代表 松本泰宜氏（いたばしカルタのデザインを担当） 2 提案する協働事業の特長（知識、経験、実績等） 昨年、板橋区で作成された「いたばしカルタ」のデザインを手がけた、まつもとや 代表の松本泰宜氏をアドバイザーに迎え、地元事業所の後継者・経営者で構成される青年部員が一丸となって事業に取り組む。
年間スケジュール	（四半期ごとに取り組む内容を記載してください。） 第1四半期：読み句、絵札の公募チラシ・ポスター作成、公募開始 第2四半期：8月末頃公募終了、9月頃選定作業、監修作業 第3四半期：制作期間、12月頃完成 第4四半期：1月頃配布、かるた大会を実施

協働の成果	1 団体 事業実績の増加、他市青年部へのアピール 2 行政 市民の郷土愛の醸成 3 地域 地域活動に関心を持つ市民の増加
成果指標	アンケートを行い、郷土かるたの効果について市民から声を聴く。
事業と関連する団体の特徴及び活動実績	1 提案する協働事業に関連する知識、技術等（団体の特長） 古くから地元で事業を営む事業所の後継者も多く、地元に対する郷土愛が深い。一方で市外からの流入による創業者も多く、双方の立場を反映した事業を行うことが出来る。 青年部は30歳代を中心としたメンバーにより構成されており、子育て世代も多い。 2 提案する協働事業に関連する活動実績 和光市民まつり、ニッポン全国鍋合戦、W@K.Oコンなど、市内の各種イベントの企画・運営・協力の実績がある。
他団体とのネットワーク（協力、共催等）	和光市内のNPO法人に協力の依頼を予定。
事業の実施年度以降のスケジュール	わこう郷土かるたの普及に努め、定期的にかるた大会を実施し、かるたの継続的な利用を促す。 また、商工会青年部と行政との協働により、このような意義深い事業が行われた事を、全国の商工会青年部に告知し先例として参考にして頂く。

※ A4サイズ5ページ以内で、できるだけわかりやすく、具体的に記載してください。